

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	2716
部 名	経済部	課 名	商業観光課	課長名	加藤一嘉
事務事業名	泳げ鯉のぼり相模川補助事業				
予算上の事務事業名	観光事業補助金（鯉のぼり）				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		35210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます				
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 魅力ある観光資源の整備と情報発信				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	なし				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市観光振興計画			都市の魅力づくりにつながる新しい地域文化を創出するなど、都市型観光の創造を目指し、62万人都市「相模原」のPRを進める。	
計画年次	14	年度～	18	年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼				
5 事業概要	<p>（1）事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）</p> <p>（2）対象（誰、何）</p> <p>相模原市の五大観光行事の一つである泳げ鯉のぼり相模川を支援することにより、相模川の自然に触れていただくとともに、GWの風物詩として、来場者に憩いの場の提供し、マスメディア等を活用し、62万人都市さがみはらを全国に発信していく。</p> <p>来場者（市内外住民）</p> <p>（3）平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>泳げ鯉のぼり相模川実行委員会への補助金の交付（2,640千円）及びイベント運営管理への支援</p> <p><開催概要></p> <p>名称 泳げ鯉のぼり相模川</p> <p>開催日 平成16年4月29日～5月5日</p> <p>会場 相模川高田橋上流河畔</p> <p>内容 子供たちの逞しい成長を願い、相模川の上空に約1,200匹の鯉のぼりが群泳する。</p> <p>観客 38万人（7日間）</p> <p>事業費 5,578千円</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	3,002	2,500	2,640	2,640	2,640
一般財源	3,002	2,500	2,640	2,640	2,640
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,195	4,005	4,035	4,035	4,035
事業コスト合計(a)	7,197	6,505	6,675	6,675	6,675
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	泳げ鯉のぼり相模川補助事業			対象名称(単位)	来場者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	7,197	6,505	6,675	6,675	6,675
対象数	470,000	510,000	380,000	380,000	400,000
単位あたり経費(円)	15	13	18	18	17
前年度比		0.83	1.38	1.00	0.95

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	事業費に対する補助率（％）	指標式と指 標の説明	補助金額/実行委員会事業費決算額*100 決算額に対する補助金の交付割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	46.2	42.4	47.3		
目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度	0.92	0.85	0.95		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	補助金100円あたりの来場者 数(人)	指標式と指 標の説明	来場者数/補助金額*100 補助金100円に対する来場者数(費用対効果)		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	15.8	20.4	14.4		
目標	19.3	21.0	22.2	22.2	22.2
目標達成度	81.9	97.1	64.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	良好な状態を維持する事業			
	[]	概ね良好な状況である事業			
	[]	見直しを行う必要がある事業			
	[]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			このイベントには毎年県内外から多くの来場者があり、相模川の自然とその水面上の鯉のぼりを満喫し、豊かな時間を過ごしており、イベントの目的は達成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
マスコミ各社への記事提供により、GWの風物詩として各社メディアに取り上げられ、相模原市のシティーセールスとしてその役割を果たしている。			第18回目を数え、匹数の増加、河原でのイベント等新たな話題性と来場者の滞在時間が長くなるような取組みが必要。 また、地域経済の活性化への取組みも必要と考える。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			